

(令和8年度) 第4回白山市上下水道料金検討委員会 会議内容

- 1 日 時：令和8年5月29日（木）午前10時～午前11時50分
- 2 場 所：白山市民交流センター3階 企画展示室
- 3 出席委員：新委員長、松本副委員長、佛田委員、京念委員、藤田委員、高山委員、池崎委員
- 4 事務局：上下水道部長、企業総務課長、上下水道課長、鶴来白山ろく上下水道課長、上下水道課担当課長、企業総務課課長補佐、同主幹、同係長

5 会議要旨

発言者	発言要旨
委員長	【委員長あいさつ】 今回第4回はいよいよ最終局面といいますか、改定率と改定時期を決定します。皆様におかれましては今までの検討内容を踏まえまして適切な料金改定の案をまとめてスムーズな審議をお願いしたいと思います。
市	【資料P6まで説明】 1 前回（第3回検討委員会）の振り返りと2 料金改定に合わせて進める取り組み
委員長	前回の委員会で料金改定した場合、値上げをした分でどういう管の入れ替えや整備計画ができるかを明確に示した方が理解促進につながるだろうということで資料を作ってほしいと委員会の意見として要望したことに対して示してくれたものです。
委員	ストックマネジメントとは？
市	施設には耐用年数があります。それと同時に老朽化もしていく。耐用年数を考慮しながら修繕でいいのか丸ごと更新しなければいけないとか更新計画を立てていく。その総称をストックマネジメントといいます。下水の施設、電気施設、土木施設の維持修繕、施設ごと細かい設備ごとに更新計画を立てるそのことです。
委員	計画だけでこんなに高額になるのか。
市	施設の的にも数が多い、特に下水は老朽化が激しい。修繕工事の費用も入っているため。
委員長	国から指針が示されてそれで進めているのか 埼玉県事故を受けての新たな指針など出ていないのか。
市	ストックマネジメントは想定される修繕をなるべく平準化するためのものとして指針はもともとある。これまで管路施設など重要な施設は5年ごととなっていたが、八潮市の事故があつて国は調査委員会を作り、利用頻度の高い重要な路線の者は点検頻度を高めて、逆に利用頻度の少ないものは点検頻度を下げるなどの指針が示される予定。国

	で定めるため10月くらいに施行される予定。それが示されたらそれをもとに点検頻度を見直していく予定。
委員長	国から、八潮市の事件を受け、点検頻度が上がり管理強化の指針が示されたこともあり、と伝えていった方が良いのでは。
委員	議会に出す資料もこれなのか。もし外部に出るなら耐震化とストックマネジメントが同じようなものなのなら統合して示した方が分かりやすい。
市	中期計画については議会に提示している。これに基づいて進めることで、これらを実行するためにお金がどれだけ必要かということになり、料金にも影響が出てくるということが分かる。
委員	水道と下水道で文言を統一した方が外部に出すには分かりやすいのでは。
市	もともと中期計画の中でも分かれているので、提示する際は工夫、検討します。
委員長	議会で中間報告した際に何か質問はあったか。
市	前回までの報告では特に質問はなかった。
市	【資料P7～15説明】 「3 改定案（改定率、改定時期）」から 「6 料金改定案の決定」まで説明
委員長	いろんなケースがあって皆さんも混乱するかもしれませんが、15ページにまとめたものが出ています 今回は論点がふたつあり、ひとつは改定率、水道は20%で決まっているが下水道を20%と25%のどちらにするか。もうひとつは値上げ、改定の時期をどうするか。段階的に上げるのか、令和9年度に1回で上げるのか。値上げする料金は20%だと925円、25%だと1,057円、132円の差があります。少ないと言えば少ない金額だし、3桁と4桁の違いとなる。時期はいつぺんに上げるか2年、3年かけて上げるのか。案1は次の委員会の見直し時期と重なるので現実的ではなく、今の話では案2か案3で決めることとなります。案2は2回、案3は一回で925円か1,057円上がる。そのどちらか。まずは下水の改定率を20%、25%どちらにするか。

委員	10%どころでなく、100円で作った水を90円で売ったら赤字になる。民間ならとくに倒産している。A市の新聞記事と同じことになる。赤字が6年続いてもうやっていけないと。しかしA市の数字は前のか今の数字のどちらでやっているのか。過去の実績からの数字でやっているのは分かるが、先5年を見越しての話が必要なのでは、ナフサの問題とかも今出てきている。今は世帯数は減らずに人口が減っている。基本料金内の使用の家庭がこれから圧倒的に増える、この数字、20%、25%の改定で本当にいいのか。私は住民の皆様の代表としてここに出てきているので、持続可能で将来にツケを回さない、100円のをせめて100円で売らないといけないと思う。A市は30%上げてもまだ赤字になるかもと新聞に書いてあった。水は大事なライフライン、命にとって水が一番大事だと考えている。うちの隣の町会では下水管に木の根っこが巻き付いて何軒も工事していると聞いた。樹木があるということはそういうことが起こりえる。不測の事態もあるし将来図を見た中でのデータを出してほしい。
市	A市は給水単価が199円、白山市は126円。もともとA市は高い。下水道は総務省が示している単価が150円、白山市は136円で一般会計の負担金に依存している。今回の改定で単価が150円ほどになる。一般会計の負担金が少しでも減らせれば、一般会計からの繰り入れが減ることで教育や福祉に使うことができる。一方で下水は一般会計の繰り入れ無しにするには65%くらい値上げしないといけないとなる。税金を使うのか一般会計からの繰り入れを使うのか5年かけて検討していきたい。
委員	基本料金の世帯が増えると収入が減るのか増えるのか。
市	使用水量で見ると10から30m³の世帯が一番多い。30m³以下の使用が全体の8割くらい、85%ほどいる。基本料金を20%上げることで大丈夫かと思います。
委員	後世にツケを回さずなるべく早く上げた方がいいのでは。
委員長	時期的には一回で、時期と改定率をこれで足りるのかと、不測の事態もあるので25%で足りるのかと。一方でなるべく抑えてくれという意見もあるかと。皆さんいろんな団体の代表として来られていると思うし、それぞれご事情もあると思うので、20%、25%でどうするかを検討していきたい。
委員	改定率は、水道20%、下水25%、後世に残さず整備をおこなっていく。 改定時期は、案3がいいと思う。2点思いがあります。インパクトとして見せ方としてP10下水の経費回収率、100%、110%、これでも高くはないよねと思う。委員会としてはそう思います。ただ一般の人としては100%超えるともうけてないかと思われても嫌だと思う。大口の法人にとっても110%、100%はもうけるというふうに目に映るのでは。企業へのアプローチが別であるのなら案3でもいいのかなと。

委員長	法人には考慮すべき１１０％、これからもどうということが起こるか分からず、資金を確保するに越したことはない。事業者にはやりすぎと映っても仕方ない。法人にはどう説明するのか。事前に事業所から問い合わせとかあるのか。
市	今のところ、新聞にも出ていないので問い合わせはない。
委員長	改定率、改定時期、両方ご意見、両方一緒に検討していきたい。
委員	分けて考えた方がすんなりいくのでは。まずは一般会計からの繰り入れが前提ということなので回収率１００％超えていても借金があるのだということを出していけばどうか。訴え方としては、一般市民に、借金前提を示すのか。１００％超えるのは小さくだけ見せるとか。見せ方を考えて市民に出していけば。大口はＡ社、Ｂ社、こういうところはメーターはひとつではないですね。
市	メーターを読んで上下とももらっている。消雪の使用などもあるが、建物の中の分はメーターを読んでいる。
委員	その理屈では、大口には政治的な側面で配慮されているのかなと。とりあえず２５％という通りやすい数字を出してきて、成立させることが限定的な数字なのかなと思う。水道２０％上げれば、節水するようになるだろう。ゴミ袋の有料化の例のように。２５％上げただけの回収率には届かないかもしれないので、自分的には２５％上げればいいと思う。
委員	回収率１００％とあるが、未収金回収を民間の会社に任せていると先ほどあったが、例えばクレジットのように先に支払われてその会社が全部回収していつているのか、それかその会社が回収したものを入金するのかというやり方なのか。
市	ここの回収率と未収金の徴収率は別のものです。未収金の徴収率はかなり高い数字を維持しています。ここの回収率は事業の運営を料金収入で賄っているかというもので、未収金の収納率とはまた別物です。
委員	弁護士に頼むと収納率が上がるのか。最近は詐欺のメールみたいなものがあるが、弁護士からもそんなメールで通知が出るのか。あと、上下水道料金はまとめて請求が来るが、支払いの仕方を同じにしてあるのに分けて考えれるのか。未収の人は別々になっていることがよくわかるのか。
委員	未収率はどれだけか。
市	収納率は９９．７％です。
委員	同じ人が払わないのか。払わない人は何人くらいいるのか。
市	収納率は他市町と比べても高い方です。

委員	議会に報告するときに、値上げのこととフッ素、P F A S の兼ね合いをどうするのか。
市	議会には決定事項を伝える。P F A S は話題になっている。4月から正式な検査項目に入ってくる。年4回検査してその結果をホームページに載せていく。
委員	今こんな問題があるのに値上げするのかと。議会への報告の兼ね合いは。
市	今回議会への報告は、料金検討委員会でいつから水道何%下水何%改定することに決定しましたということだけです。
委員長	で、改定率はどちらですか？
委員	20%かなと。できるだけ抑えたい。
委員	20%、いきなり上がるのは避けたい。
委員	65%という数字を聞いていたら20%、25%とかこんな数字にはしなかった。税金からの繰り入れが減っても市民税が下がるわけでもないし、福祉に回せるとは言っても福祉のように何かサービスを受けるなどもらうことができるわけでもない。民間であれば電気のようにポーンと値上げしても誰も文句言わない。みんな値上げしたことばかり言うが、65%赤字ということ。一般会計からの繰り入れが減ってそれでツケを将来に回さないように、専門知識を持たない一般の市民の方にも分かるよう、赤字のツケはどこに行くのか。丁寧にわかるように説明してほしい。
委員	私も全く同じ思い。25%は通りやすい数字だけど本音ではもっと上げたい。ほかの自治体も一般会計からの繰り入れがあってやっていけているのか、白山市はまだ大丈夫かとか。危機感を示していかないといけない。一般会計からもらわんなんやっていけないと。25%上げてでも節水するだろうから実際は22, 23%の値上げのようなことになるだろう。企業管理者は市長であるが、他の団体は別の人が長になって赤字などの対策をしている。管理者が市長なので言いにくいのかと、お金もあるが民間からお迎えするとかあり方を考えていってほしい。もっと危機感を煽っていかないと。
委員	25%でいいと思う。
委員長	できるだけ少ない方がいいのではともあるが、皆さんの意見を集約すると、将来世代にツケを残さない、水質保全にも経費が掛かっていく、P F A S の関係もあるし。企業体の経営としての観点、持続可能な観点でいくと委員会としては25%という意見にしていきたい。では、時期はケース4の案3, 4のどちらか。
委員	資料の棒グラフの破線を見たら赤字なんだということが分かる。物価高騰が前提にある。何で何回にも分ける必要があるのか。
委員	案3かなと。
委員	65%赤字、待ったなし。案3

委員	案3
委員	案3
委員長	二年連続にして二回に分けても結果的には同じ金額になる。いろんな事故や事件、物価高騰もあるし今の時期を逃すと上げれなくなってしまいかもしれない。結果的には今の時期に上げていくのがいい。案3で。
委員	ただし、道路陥没など大型車が通って道路に穴が空いたりした時に水道の部署に言うとも道路は土木課が担当だとか言われてすぐに対応してもらえなかったりする。住民目線で早期に対応して放置しないようにしていけばみんなも納得する。関係課との連携を遅滞なくおこなってほしい。
委員長	その意見はごもっとも。料金の値上げで一般会計からの繰り入れが減る。必ずしも企業体としての収入が増えるわけではないが、そういう取り換えなどの対応が迅速にできるようになる。市民の目も厳しくなっていく。先ほどの意見にもあったが、見せ方が大事。回収率と収納率ということばも一般の人は混乱する。この資料が外に出るなら回収率の用語の説明が必要。一般企業であればこういうことだというような語句の説明を分かりやすく工夫してやってほしい。
委員	見せ方ですね。
市	そのへんはまた工夫していきたいと思う。先ほどの道路の話、道路管理者、占有者との連携を図って事故が起こらないよう国からの通達が出てくるはずなので連携取りながら連絡取り合ってやっていこうと思っています。より一層俊敏に対応できるよう取り組みして行きます。
委員長	ケース4、案3で令和9年度からいっぺんに改定する案で市長に答申してよろしいか。では、7月24日の第5回委員会後市長へ答申します。それまでに答申案を承認していただくということか。
市	事前にご意見をいただいて作成したものを読み上げて委員会で承認いただく。
委員長	今までの意見を意見具申でつけてください。料金改定、市民の負担にならないよう検討したが将来世代への負担を考えてこのようになったと。今までの意見をまとめて意見具申で盛り込んで、上げざるを得ないということは戦略会議で決めて、検討委員会では改定率や改定時期を決めるという立ち位置を入れてほしい。
委員	水道がPRする絶好の機会。町会の防災訓練で給水車を出してアピール。そういう機会を通じて水道の在り方をPRしてほしい。要望があれば各地域に出向いて行ってほしい。
委員	水道は一般会計ありきのもの。別会計。封筒に広告を載せたりできないか。市民課の封筒みたいな広告費で少しでも収益に努めていますみたいな。

市	収入の元が水しかないので他の収入方法も検討していきます。
委員	給水原価とは？ A市となぜこんなに違うのか。
市	施設運営に係る費用を積み上げて水 1 m ³ 作るのにいくらかかっているかというもの。白山市は地下水が多くあるので運んでくる費用が少ない。県水は手取川から取っているので給水原価が高くなる。白山市は、県水使用割合は 11 %、A市は 40 %その違いです。
市	松任美川地域は地下水がメインです。
委員長	県水には責任水量というものがある。能登まで送っているので長い区間の水の安全保障のため原価が高くなるんですが、災害時も安定して供給できるというところです。
市	【資料 P 16 説明】 7 今後の予定
委員長	意見の集約が大変。ハイライトとしては将来世代にツケを残さない、これからの安心安全のため真摯に審議しました。
市	【閉会の挨拶】 今日は委員会のクライマックスで、改定率、改定時期について審議しました。水道 20 %、下水道 25 %、時期はともに令和 9 年度からという結果をいただきました。今から市長への答申まで具体的な数字時期を出していただき身の引き締まる思いです。中でも効率的な運営の努力が必要だということは重々承知いたしております。これからも温かいご支援をいただければと思います。ありがとうございました。